

「老健」って、どんなところ？



「ろうけん」って
耳にするけど
ほかの施設と
どこが違うの？

老健にはこんな 役割があります。

老健は「中間施設」「通過施設」とも言われる「在宅復帰施設」。ある程度の期間、老健で介護・リハビリを受けながら自宅に帰る力をつけます。



老健は 「リハビリ施設」です。

歩く訓練など「生活動作能力」を向上させるリハビリや、認知症を予防・改善するリハビリを行い、自宅での生活が安心してできるよう訓練を行います。

キラメキのリハビリ部
理学療法士(P.T)2名
作業療法士(OT)1名
言語聴覚士(ST)1名
リハビリ助手 3名



「老健」は専門職の
集まりです。

老健には医師を始め、看護師、介護福祉士、介護支援専門員、社会福祉士、リハビリセラピスト、管理栄養士など専門職の集まりで、チームを組み協働して利用者の皆様をサポートしています。時にはご自宅への訪問を行い、専門的なアドバイスもさせて頂いています。ご家族だけで抱える介護の問題ではなく、私たちも一緒に考えていきます。

老健は 「在宅バックアップ施設」 です。

ご自宅に帰られた後も、通所リハビリや短期間の入所(ショートステイ)を利用しながら自宅での生活を支援していきます。退所された後も「何かあったらいつでもどうぞ」そんな使い勝手のいい施設を目指しています。そういった意味でも、老健は「在宅バックアップ施設」と言えます。



在宅生活を バックアップ



「3ヶ月で出なくてはいけ ないの？」の声にお答え します。

いいえ、その方の状況や自宅の状況、リハビリの進行状況等に依りて3カ月、6ヶ月、9ヶ月などの場合もあります。また、退所しても「体力が落ちたからまたリハビリをしたい」などの理由で再入所もできます。
繰り返して、上手に「老健」を利用しながら、なるべく在宅生活を続けて頂けるよう支援いたします。私たちは「往復型利用」と言っています。

「自宅に帰るのは家族 として正直難しいと思う」 理由は様々です。

ご家族の介護力や、家に段差があるから移動が困難、一人暮らしだから、など「帰れない」「帰せない」理由は様々です。あくまでも「住み慣れたご自宅」へ帰って頂くことを目標にしますが、どうしても難しい場合は新たな「住まい」をご提案・検討します。今、地域ではいろいろな事業所※が開設されています。
(※グループホーム、有料老人ホームなど)

お気軽に ご相談ください。

キラメキには病院から退院された方や、ご自宅から直接入所される方がいます。入所するには病状が安定していることや「介護保険認定」など必要な条件があります。まずはお気軽に当施設にお電話下さい。

41-1122

在宅支援部を新設

この6月からキラメキに「在宅支援部」が新たに立ち上がりました。
「在宅復帰を支援する」
「在宅生活を支援する」
この2つの意味を込めてスタートします。これまで在宅プランを立てていた「居宅介護支援事業所」と、施設の窓口である「相談室」を統合したもので、支援相談員、介護支援専門員(ケアマネージャー)で組織。
安心した在宅生活が継続して送れる様、ご本人、ご家族と一緒に考え、サポートしていきたいと思っています。



老人ホームって、
どこも同じだと
思っていたね。



一緒に考えて、一緒に支える 施設を目指します。

小さくても、
「安心・楽しい」が
大きいデイサービス

なんと365日
やっています！

食事がメチャ
美味しいと評判！



ドリームケアさざ
佐々町中川原免69-1
TEL62-2706 1日10名

ドリームケア吉井
吉井町橋川内26-5
TEL64-2230 1日12名

キラメキリハビリ部の作業療法士が定期巡回。専門的なアドバイスも。

(施設部門)	(在宅支援部 係長)	(主任)	(主任)		
相談室			居宅介護支援事業所		
在宅支援部					